

平成18年度県道高知インター線道路改築に伴う  
介良野遺跡発掘調査現地説明会資料



日時 平成18年7月23日(日)14時00～15時30分

場所 高知市介良甲

介良野遺跡発掘調査現場

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

## 1. 発掘調査名

平成18年度県道高知インター線道路改築に伴う  
介良野遺跡発掘調査

## 2. 目的

県道高知東インター線改築工事計画に含まれる介良野遺跡及び周辺部について  
工事により影響を受ける範囲を対象として事前に発掘調査を行い、記録保存によ  
り埋蔵文化財の保護を図ることを目的とする。

## 3. 事業主体

高知県高知土木事務所

## 4. 調査主体

高知県教育委員会

## 5. 調査実施機関

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

## 6. 調査場所

高知市介良甲地内

## 7. 調査面積

調査予定面積 約4,500㎡

## 8. 調査予定期間

平成18年4月～平成18年9月

## 9. 調査成果(平成18年6月現在)

### (1) 主な検出遺構

弥生時代後期末～古墳時代初頭

竪穴住居跡16棟、土坑30基、溝跡30条、ピット86基。

### (2) 主な出土遺物

弥生土器(壺・甕・鉢・高杯・支脚)、鉄鏃、磨石、打製石包丁

## 10. まとめにかえて

### ① 弥生時代～古墳時代初頭のムラが見つかりました。

竪穴住居跡が16棟見つかりました。このうち多くの住居跡は調査区外へと広  
がっていますので、周辺にも数多くの竪穴住居跡が遺存しているものと推測され  
ます。これらもあわせると、この地域の中心的なムラであったと考えられます。

### ② 周辺の遺跡との関連が見えてきました。

約1km西の介良遺跡では「ふるさとの川モデル事業」に伴い、平成8年～10年にかけて発掘調査が実施され、弥生時代～近世にかけての遺跡であることが判明しています。介良遺跡からは、今回介良野遺跡で見つかったものと同時期の土器類を始め、木器類(木製農耕具など)が大量に出土しています。しかしながら、竪穴住居跡等のムラに直接関連するものは見つかりません。介良遺跡で見つかったものを残した人々の住んでいた場所が、今回調査した介良野遺跡であった可能性も考えられます。

また、時期は新しくなりますが、周辺には古墳が数多く築かれています。これらに葬られた人々が生活していたムラも周辺にあることは間違いのないでしょう。今回の調査で当時の人々が暮らしやすいと考える場所(立地)がわかりました。同じような地形をした場所に昔のムラが眠っている可能性があります。

このように調査が進めば点と点を結び面になり、地域の歴史をより具体的に掘り起こすことができるようになります。

